

日本人は、アサギマダラに哀愁とか郷愁とか、ただならぬ感情を抱く。なぜなのか、AIに聞くと、なるほどとなる。しかし、私は普通の視点外で感傷する。それは「俺の信念は固い・俺の信念は揺るぎない・ぶれない」などと自慢げに一個所に拘泥・固定・硬直することに恐怖を感じることから、自由と柔軟と臨機応変の肝を学ぶ。左極から右極まで、自由自在の妙！ 何々党とか、何々宗とか、そんな一点に執着して、人生楽しいのか？ つまり、自分の主義主張にしがみ付くと、無意識層深層心理に塵埃が積層し、自己限定化が発症し人生の半分は自己放棄したものと同然になるのだ、一生一度の大生命！ もったいないことだ。 アサギマダラはこのようなことを教えているのだ、アサギのように至高の自由であれ！

2025 (R7) /09/24 (水) 山形新聞

長い旅を前にフジバカマの蜜を求めるアサギマダラ＝山形市野草園



せっせと 長旅の準備 山形・アサギマダラ飛来

長距離を旅するチョウ「アサギマダラ」が、山形市野草園に飛来している。春から夏にかけて南から北へと移動し、世代交代して秋に南へと渡るため、フジバカマの蜜を求めている。

今年は今月4日に同園に初飛来した。気温15～25度程度で一番活発に動くという。2020年には蔵王でマークインされた個体が2275キロ離れた台湾で確認されている。

毎年秋に訪れるという山形市江俣4丁目、学校司書大野智宙さん(49)と長女で山形大生の風香さん(22)は「季節が良くて、ゆつくりとアサギマダラを楽しめる。スマートフォンでうまく撮影できてうれしい」と話した。

同園によると、飛来は10月初めまで続くという。

(色摩高幸)

(end)